兵庫県立伊丹西高等学校　４４回生　学年通信第７号　　令和４年９月２日（金）発行

腕

かいな

～懸かりて、我等が『腕』にあらん～

『 2nd effort 』

４４回生　学年主任　〇〇　〇〇

今から約 20 年近く前、現役でバレーボールをしている時に、監督から聞いた言葉がある。『 2nd effort 』、直訳すると「第２の努力」である。サッカーやバスケットボールなどで例えると、味方にパスを出した『 1st effort 』 後にスペースに走り込む『 2nd effort 』といったように、実行したことだけで終わるのではなく、その後必要になるかもしれないことに対する努力を指す言葉である。もう少し解説すると、スペースに走り込んでもそこにパスが返ってくるかどうかは未来のことなので、もしかすると無駄な努力になるかもしれないのである。

スポーツに限らず、生活の中で我々は何かを実行しているので、それを努力とするならば、常に『 1st effort 』していることになる。これだけでも難しいことではあるが、競争の中で他者との違いを生んだり、より自分に有利な状況をつくりだしたりするためには、この『 2nd effort 』が大切なのではないかと感じる。

皆さんには、与えられたことや目の前にあることをこなすだけで終わる生徒、すなわち『 1st effort 』で終わるのではなく、その後に起こるかもしれないことに対して『 2nd effort 』できる生徒であってほしいと思う。

高校入学して早くも２学期に突入しました。２学期は、「類型の選択」を決定するという大きな仕事が待っています。文系に進むのか、理系に進むのか、この選択をするということは、後戻りできないので、非常に重要です。

そこで今号では、44 回生の中でも一番皆さんに年齢の近い〇〇先生に原稿を書いて頂きました。現在の姿しか知らないので想像できないかもしれませんが、誰もが幼少期から青年期を経て現在に至ります。現在の彼ではなく、高校時代の〇〇先生の体験記を読んでみましょう。今後の高校生活のヒントになるかもしれません。

「私の高校時代」

〇〇　〇〇

〇〇先生に「先生はみんなと年齢も近いし、何でもいいので高校時代のことを書いてください」とお願いをされ、「さぁ、書こう」とパソコンを見つめてかれこれ５時間。卒業してから１０年ちょっと経つのかと時の流れの速さを感じつつ、自分ももうしっかりアラサーなのかと思うと少し寂しくなった。「何を書こうか、何なら書いてもいいのか」そんなことを考えながら、「私の高校時代」について少し書きたいと思う。

私が通っていたのは神戸のとある公立高校で、人情味溢れる下町に立地していた。授業中には、買い物帰りのおばちゃんが買い物袋を両手に学校の廊下を歩いていたり、休日にはドッグランのようにグラウンドで飼い犬を走らせているおっちゃんがいたりと、地域に愛されている学校だったと思う。生徒手帳には「下駄やスパイク等で廊下を歩かないこと」というルールがあるぐらいで、校則という校則は存在しなかった。その代わりに「質素　剛健　自重　自治」の精神を「四綱領（しこうりょう）」という教育方針として掲げていた。そんな一風変わった学校に通っていた。

そんな高校での３年間で大切だと思ったことは、何かに「こだわり」を持つということである。部活動をするにしても、勉強をするにしても、誰にも負けない「こだわり」を持つことが大切だと感じた。なぜ私が「こだわり」を持ち始めたのかというと、世の中には上には上がいることに気付いたからである。これまで自分の中で得意だと思っていたことを、自分以上に得意としている人が多くいることを知った。中学校までの私はまさに「井の中の蛙大海を知らず」の状態だったのである。同じ土俵で戦うことに限界を知り、違ったものさしで、違う土俵で戦うことの必要性を知った。それゆえに「こだわり」を持ち始めたのである。しかしながら、「こだわり」をもつことと、「こうでなければならない」と固執することは全くの別物である。「こだわり」とは追求していくことである。言い換えれば極めていくことである。なぜ「こだわり」を持つことが重要かというと、全員が同じ取り組みをしても、おもしろみは生み出されず、ただただ格差が生まれるだけだからである。しかし、それぞれが「こだわり」を持って取り組めば、その差は格差ではなく個性になるのである。また、どんなに小さなことでも誰にも負けない「こだわり」をもって取り組み続ければ、それが一つの自信に変わる。ただし、注意しなければならないことがある。それは、全員がある程度同じゴールを目指していることが条件だということである。同じゴールでなければ、それは個性ではなくわがままになってしまうからである。（ここでいう同じゴールとは、共通の目標というよりも自分の目標であったり、自分の成長を指している。）

今まさに個性が尊重される時代だからこそ、44 回生のみんなには、わがままではなく誰にも負けない「こだわり」を持ってほしい。

２学期中間考査までの主な予定

9 月 5 日（月）	個人面談週間（～9/9）短縮授業 45 分×6 限 服装アクセサリー指導（～9/6）
9 月 6 日（火）	短縮授業 45 分×7 限
9 月 7 日（水）	総合ヒューマン類型希望者招集
9 月 8 日（木）	総合ヒューマン特別講座
9 月 26 日（月）	体育大会準備（5・6 限）
9 月 27 日（火）	**体育大会**
9 月 28 日（水）	体育大会予備日、ヒューマン類型変更発表説明会
9 月 29 日（木）	総合ヒューマン特別講座
9 月 30 日（金）	短縮授業 45 分×6 限、大掃除・会場準備
10 月 1 日（土）	オープンハイスクール
10 月 2 日（日）	英語検定
10 月 3 日（月）	公開授業週間（～10/7）
10 月 14 日（金）	**中間考査**（～10/19）

１年生の１学期は、初めて出会う友達や先生との人間関係の構築から、様々な行事をこなし、慌ただしく過ぎたのではないでしょうか。１学期に比べると、心にも余裕が出てきて、ゆっくり物事を考えることができると思います。今学期は勉強面だけでなく、色々なことにしっかり前向きに取り組むことができる学期にしましょう。何事も楽しむことが一番です。